

ASC Sonica DAC 試聴記 (2017.3.26)

1. はじめに

シマムセン CYMA で開催された Sonica DAC&UDP203 体験試聴会の前半の Sonica DAC 試聴会については[シマムセンオーディオ試聴会 \(2017.3.18\)](#)で報告したとおりですが、音源の選択に不満が残り、ネットワークプレイヤーとしての再生が行われませんでしたので、オーディオ仲間とともにアサヒステレオセンターのデモ機を聴かせていただく機会を持ちました。

2. 使用機器

DA コンバーター : OPPO Sonica

DA コンバーター : iFI micro iDSD

DA コンバーター : clones Asher DAC

プリアンプ : clones AP2

パワーアンプ : clones 55pm

スピーカー : Scansonic MB-5

ミュージックサーバー : DELA HA-N1AH20/2





3. 試聴会の進行

DA コンバーターについては Sonica の音質を知るために上記 2 機種もご準備していただき、比較試聴しました。

最初は DELA から USB 経由で DAC に送り出すことで、DELA に収納した音源から 11.2MHzDSD のアカペラと弦楽 5 重奏および 2.8 MHzDSD のジャズピアノを Sonica と micro iDSD で交互に 2 回ずつ聴いていきました。コントローラーは Kinsky を使用しています。Sonica の方は分解能に優れ、透明度が高く、音場の見通しも良い音がします。これに対し、micro iDSD は音が鈍って DSD 音源のポテンシャルが活かし切れないうらみがありますが、逆に弦楽 5 重奏の第一バイオリンなどは聴きやすい音になっています。

次に Sonica 単体の音ということで、ネットワーク経由で DELA に収納した音源から 11.2MHzDSD を聴こうとしましたが、再生不能というサインがコントローラーの Sonica アプリに出て再生できず、CD からアップコンバートした 192KHz,24bitPCM 音源をいくつか聴いていきました。PCM 音源で、元が CD とは思えないほどのクオリティで聴かせてくれました。なお、終了後の ASC 担当者のテストによれば、DSD はネットワークプレイヤーとしても 2.8MHz までは問題なく再生できたということでした。

最後に、もう一度 DELA から USB 経由で DA コンバーターの clones Asher DAC に送り出しの条件で 2L のサイトからダウンロードした 96KHz24bitPCM の再生を行いました。アナログマスターからのものかと間違えるほど、アナログ的な音質でした。もともとは DXD384 KHz のマスタリングだそうで、元音源が良ければ、Asher DAC は、価格的に Sonica や micro iDSD の数倍以上のものであるだけ、それに見合ったパフォーマンスを示していたと思いますが、DSD は 5.6MHz までの再生に留まるどころが残念なところです。

以上、条件を替えていろいろ聴かせていただいた結果をまとめると、Sonica は新し

い **ESS 9038Pro** の効果を出していて、**DSD** ではネットワークプレイヤーの再生限界が **2.8MHz** までという制限はあるものの、音質的にも、機能の多様さの面でも、価格を考えれば満足できるものと言えます。また、今回聴いたスピーカーと **clones** の製品はいずれも価格以上のパフォーマンスを示していたと思います。

以上